

健康で明るい住み良い環境、豊かな村づくり

い ぜ な そ ん

伊 是 名 村



市町村コード	473600	類型	I-O
所在地	〒905-0695 伊是名村字仲田1203番地		
T E L	(0980)45-2001	F A X	(0980)45-2467
ホームページ	http://www.izenawa-okinawa.jp/		
指定地域	離島・過疎・辺地・農業振興・産業高度・観光促進		

〈組織〉 (令和2年3月31日現在)

村長	まえだ せいぎ 前田 政義 任期 R4.9.20 (5期)	副村長	おくま まもる 奥 間 守 任期 R5.3.31 (2期)
副村長	-	教育長	なか た だ し 名 嘉 正 任期 R3.3.31 (2期)

〈概要〉

県下 33 位	総面積 R1.10.1	耕地 R1.7.15	宅地 H31.1.1
15.43 km <sup>2</sup>	541 ha	481,163 m <sup>2</sup>	

県下 33 位	住基人口 H31.1.1	H27国調人口	H22国調人口
1,430 人	1,517 人	1,589 人	
年少人口割合 15.6%	(県全体 17.4%)	高齢化率 27.7%	(県全体 19.6%)

住基世帯数 H31.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
773 世帯	695 世帯	699 世帯

有権者数 R2.3.1	男	女
1,131 人	622 人	509 人

議長	みやぎ やすし 宮城 安志	副議長	しおひら そのみ 潮平 そのみ
議員	条例定数 10	現議員数 10	任期満了日 R4.9.27
	常任委員会	党派構成	無所属 10
	総務、経済建設		

沿革	昭和14年7月1日 伊平屋村から分離 村制施行
-	-
-	-
-	-
-	-

H31.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	74 人	58 人	16 人
人口千人当たり職員数	51.75 人	40.56 人	11.19 人
各4.1現在	平成31年度	平成30年度	平成29年度
職員数(普通会計)	58 人	57 人	57 人
類似団体	-	33 (35)	33 (35)
ラス指数	96.7	95.3	95.1

※類似団体は0は修正値、ラス指数の0は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

〈村の花・木・鳥・魚・名所・旧跡・祭・行事等〉

村花	トウサツキ	村木	ウバメガシ
村鳥	-	村魚	-
名所・旧跡	国指定重要文化財銘苅家住宅、伊是名玉御殿、伊是名城跡、尚円王御庭公園、逆田、美織所、仲里杜、尚円王通水節公園		
祭り、行事	豊年祭、いぜん尚円王まつり、いぜん88トライアスロン大会		
名産・特産	もずく、海ぶどう、泡盛(常磐)、島米(尚円の里)		
姉妹都市	-		
その他	北海道日高町日高小学校との児童交流		

〈基本構想〉

基本構想	H24～R3	中長期財政計画	無
基本計画	H24～H28	( - )	( - )
実施計画	H27～H29	( 3年計画 1年ローリング )	

〈令和2年度主要事業〉

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	伊是名漁港海岸整備事業	継続	106
補助	沖繩振興公共投資交付金	継続	36
補助	社会資本整備交付金	継続	32
-	-	-	-

〈広域市町村圏・広域計画〉

北部広域市町村圏
地域経済活性化計画
北部地方拠点都市地域基本計画
-

〈基地面積〉 (H31.3末)

米国軍	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	0.0%
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	0.0%
合計	0.0 ha 0.0%
県面積に占める割合	0.00%

〈今後の主要プロジェクト〉

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	伊是名漁業(勞務客地区)補充バス整備事業	H28～R2	1,987
補助	簡易水道管路整備事業	H30～R7	1,227
補助	小学校建築整備事業	R1～R4	1,267
-	-	-	-

《教育》 (令和元年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
公立幼稚園	0園	0人
村立幼稚園	1園	29人
村立小学校	1校	82人
中学校	1校	35人
村立	1校	35人
村立以外	0校	0人

《医療》 (平成30年度)

区分	施設数	病床数
病院	0箇所	0床
村立	0箇所	0床
村立以外	0箇所	0床
診療所	2箇所	0床
村立	1箇所	0床
村立以外	1箇所	0床
住民千人当たり病床数		0.0床

《財政》

① 決算収支 (百万円)

区分	H28年度	H29年度	H30年度
歳入総額	3,023	2,796	3,053
歳出総額	2,776	2,488	2,718
形式収支	247	308	335
実質収支	240	308	297
比率	19.7%	24.8%	23.4%
積立金	103	70	40
積立金取崩額	0	35	271
実質単年度収支	82	103	△ 242

③ 公営事業会計等における繰入金の状況 (H30年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金 うち財源補填的繰入金
国民健康保険事業	21	39
老人保健医療事業	0	0
介護保険事業(保険)	0	0
後期高齢医療事業	2	7

区分	実質収支	繰入金 うち基幹外繰入
法非通		
簡易水道事業	6	52
下水道事業	2	15
交通(船舶)事業	54	29
港湾事業	5	0
-	0	0
法適		
-	0	0
-	0	0
-	0	0

④ 歳入の状況 (H30年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	115	3.8%
地方譲与税	21	0.7%
地方交付税	1,311	42.9%
普通交付税	1,059	34.7%
特別交付税	252	8.3%
国庫支出金	223	7.3%
県支出金	413	13.5%
地方債	211	6.9%
その他	759	24.9%
歳入総額	3,053	100.0%

④ 歳出の状況 (H30年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	505	18.6%
物件費	544	20.0%
扶助費	112	4.1%
補助費等	330	12.1%
公債費	271	10.0%
普通建設事業費	472	17.4%
補助事業費	353	13.0%
単独事業費	112	4.1%
その他	484	17.8%
歳出総額	2,718	100.0%

《産業》 ①産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	194人	26.3%
第2次	158人	21.4%
第3次	387人	52.4%
合計	739人	100.0%

《福祉》

区分	施設数	収容定数
保育所(H31.4.1)	1箇所	70人
村立	1箇所	70人
村立以外	0箇所	0人
生活保護率(H30年度平均) 人口千人当たり		13.99人

②村内総生産 (H28年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	563	12.6%
水産	159	3.5%
鉱・製造	495	11.0%
建設	552	12.3%
電気ガス水道廃棄物	△ 1	0.0%
運輸・郵便・通信	444	9.9%
卸売・小売	156	3.5%
金融保険不動産	251	5.6%
宿泊・飲食サービス	263	5.9%
専門・科学技術支援	44	1.0%
公務・教育	997	22.2%
保健衛生社会	371	8.3%
その他サービス	187	4.2%
合計	4,481	100.0%

② 主要指標 (百万円)

区分	H28年度	H29年度	H30年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.11	0.11	0.11	36	0.38	0.54	0.32
標準財政規模 a	1,220	1,241	1,268	34	8,415	22,854	3,121
経常収支比率	88.3	88.9	101.7	41	88.8	90.0	85.8
人件費	39.9	38.3	36.7	36	23.7	23.0	25.4
扶助費	2.2	2.2	2.0	8	16.2	19.3	8.0
公債費	17.8	17.8	20.3	38	14.3	14.7	13.3
物件費	17.4	18.4	21.2	35	14.9	14.4	16.1
その他	11.0	12.2	21.5	23	19.7	18.6	36.3
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	6.3	5.8	5.3	8	7.8	8.3	6.3
将来負担比率	-	-	-	-	23.6	41.7	-
税徴収率	79.6	80.8	81.8	40	0.0	0.0	0.0
現年課税分	94.8	95.4	93.7	38	0.0	0.0	0.0
滞納繰越分	14.4	20.5	26.9	30	0.0	0.0	0.0
債務負担行為額 b	0	0	0	-	-	-	-
b/a %	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
地方債現在高 c	2,555	2,507	2,459	-	-	-	-
c/a %	209.5	201.9	194.0	26	-	-	-
積立金現在高	941	1,035	973	-	-	-	-
財政調整基金	640	675	444	-	-	-	-
減債基金	105	128	198	-	-	-	-
その他特目基金	195	232	331	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	74,591	79,596	80,333	6	-	-	-
自主財源比率	16.3	17.9	27.6	28	-	-	-

《行政の特色》

健康で明るく、住みよい、村づくりを基本として、今後は歴史的遺産を活かしながら、観光産業の振興を図り、文化的、創造的な野外活動の拠点づくりを目指し、「歴史と自然、人が共生するとまわのしま・伊是名」を伊是名村の将来像として設定、目標に取り組んでいく。